

様式第10号（2）（様式第9号（3））【添付書類】

賃借権の設定等を受ける者の農業経営の状況等

（農地所有適格法人以外の法人）

整理番号 <small>（機構で記載）</small>		法人の名称 株式会社〇〇〇〇		賃借権の設定等を受ける者の権利の取得後におけるその行う耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農用地等の周辺の農用地の農業上の利用に及ぼすことが見込まれる影響（G）		賃借権の設定等を受ける法人の業務執行役員等の状況 (D)		賃借権の設定等を受ける法人の主な家畜の飼育状況 (E)		賃借権の設定等を受ける法人の主な農機具の所有の状況 (F)			
賃借権の設定等を受ける土地の面積 <small>（㎡）</small> 配分計画・集積計画（一括方式）の面積 (A)		賃借権の設定等を受ける法人が耕作又は養畜農事業に供している農用地面積 <small>（㎡）</small> (B)		賃借権の設定等を受ける法人の主たる生産作物 (C)		氏名 役職名 住所 年間農業従事日数 前年実績 見込み							
農地	17,234	農地	12,000	水稲	A	代表取締役	水戸市〇〇町〇〇	—	60	種類	数量	種類	数量
採草放牧地					B	専務理事	水戸市〇〇町〇〇	—	60				
その他		採草放牧地			C	常務理事	水戸市〇〇町〇〇	200	250				
雇用労働力（年間延日数） <small>（従業員の間労働日数を総計）</small> 人日													
賃借権の設定等を受ける者の権利の取得後におけるその行う耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農用地等の周辺の農用地の農業上の利用に及ぼすことが見込まれる影響（G）				周辺で行われている慣行農業と相違ない作付を行うため、周辺の農用地の農業上の利用に影響を及ぼすことはないと考えます。 また、農薬の使用方法は、地域の防除基準に従う。		地域との農業における他の農業者との役割分担の状況（H）		地域の営農に関する会議には必ず出席する。 また、地域で定期的に行われる除草作業や共同で取り組む作業等があれば積極的に参加する考えである。					

（記載注意）

- (1) (A)欄は、同一公告に係る計画によって、賃借権又は使用貸借権の設定が2つ以上ある場合には、それぞれを合算して面積を記入する。
- (2) (B)欄は、賃借権の設定等を受ける法人が農用地利用配分計画案作成時点で耕作又は養畜農事業に供している農用地面積を記入する。
- (3) (C)欄の「賃借権等の設定を受ける法人の主たる生産作物」欄には、法人の生産する農畜産物のうち、粗収益の50%を超えると認められるものの名称を記載する。なお、いずれの農畜産物の粗収益も50%を超えない場合には、粗収益の多いものから順に3つの農畜産物の名称を記載する。
- (4) (D)欄の「住所」欄には、取締役、理事、執行役、支店長等の役職に就いている者で、実質的に業務執行の権限を有し、地域との調整役として対応できる者が生活の本拠としている場所を記載する。
- (5) (D)欄の「年間農業従事日数」欄の「前年実績」欄には、農用地利用配分計画の公告の日を含む事業年度の前事業年度において法人の行う農業に常時従事している業務執行役員の農業への年間従事日数を記載し、「見込み」欄には、権利を取得しようとする農地等を耕作又は養畜の事業に供することとなる日を含む事業年度における農業への年間従事日数の見込みを記載する。なお、「年間農業従事日数」には、農業部門における労務管理や市場開拓等に従事した日数も含まれる。
- (6) (E)欄は、賃借権の設定等を受ける法人が飼育している主な家畜について、その種類と頭数を記入する。
- (7) (F)欄は、賃借権の設定等を受ける法人が所有している主な農機具について、その種類と数量を記入する。